

活躍を決意

総合資格学院
仙台校合格祝賀会



合格者を激励する
辻本学校長

100人が出席し、合格者を祝福した。仙台校では本年度の官城県1級建築士合格者74人のうち66・2%の49人の受講生が合格。3人に2人が難関を突破した。2級建築士合格者122人のうち6割以上の75人が同校の受講生だった。大学生ら20代の合格者の割合が増えた。辻本学校長は「これから就職活動や入社、転職など人生のなかで不安や悩みは尽きないと思う。勉強を継続してきた経験は不安を打ち消すきっかけにもなる」と合格者を激励した。

2023年1月11日 日刊建設工業新聞

(仙台・盛岡・秋田・山形・郡山会場)

年頭所感

被害や土砂災害が頻発して、われわれ道路業界は、安全で安心して働ける魅力のある業界となるよう積極的に推進していかねばなりません。これに対して、国土強靱化のための5か年加速により分断された高規格・

昨年秋に開催した東北地方整備局、東北各県・仙台以下の意見交換会では、担当の兆しがみられます。技術力による選定では、自治体によって相当バラツキがみられます。改正公共品質の確保・向上、DX推進の環境整備をテーマに要請と提案を行いました。働き方改革の最重要課題として、適切な入札契約方式の選択とプロポーザル方式または総合評価方式の積極的活用を努めていただく

建設DXで懸念解消へ

建設コンサルタンツ協会東北支部

支部長 菅原 稔郎

建設DXが進むことで業務効率が向上するばかりでなく、この業界を目指す若い人が増えることになれば、働き方改革や担い手不足という懸念事項も解決できるものと期待しております。

(税込み)を上限とする。

18日まで企画提案書を受け付け、19日の書類審査、23日のヒアリング審査を経て、最優秀提案者を選定する。

今後の活躍願う

総合資格学院
札幌校合格祝賀会

総合資格学院札幌校(真田亮史校長)は9日、札幌市中央区のアパホテル札幌で2022年度合格祝賀会を開いた。1級・2級建築士に合格した同校の受講生が、担当講師やスタッフ

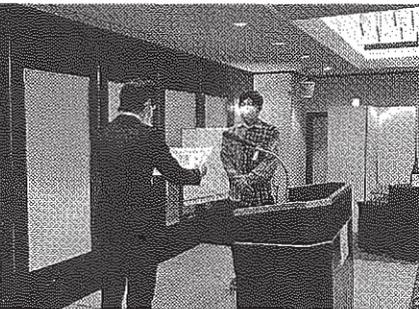
担当はまちづくり政策局政策企画部都心まちづくり推進室都心まちづくり課(電話011・211・2692)。

その後、来賓として出席した北海道建築士事務所協会札幌支部の中原茂人副支部長と北海道建築士会の近藤真人連合青年委員会北海道ブロック代表が祝辞を述べ、同校の早川昇講師の音頭で乾杯し、合格の喜びを分かち合った。

賀詞交歓会

北海道舗装事業協会ら3団体

北海道舗装事業協会(中田隆博会長)と日本道路建設業協会(道建協)北海道支部(三澤朗支部長)、北海道アスファルト合材協会(玉川裕一会長)は6日、札幌市中央区の札幌プリン



札幌市中央区の札幌プリンホテルで2023年新年交歓会を開いた。来賓や会員合わせて約180人が参加した。

2023年1月11日 日刊建設工業新聞

(札幌会場)

目前には、防災・減災を中心とした道内の社会基盤の維持管理・更新や、北海道の札幌延伸、さ

る必要性に迫られている。同業務では法令上の制限や現状の荷重状況、地下構造物の耐荷力などを踏まえ、地上上屋などの撤去や再構築に伴う地下構造物への影響、課題・条件整理、対応策の検討を進める。前回の広場改修の際に整理したコンセプトと現状の利用状況を対比し、解決すべき課題を抽出。その上で、周辺の今後の開発動向を踏まえ南口駅前広場改修の必要性を整理する。

履行期間は3月31日まで。業務規模は810万円

期確保へ

中川 収

たる際の説明用資料としてパンフレット「建設工事の最大限を注する民間事業者・施工主の皆さまに対するお願い」が掲載されていますが、その教宣や情報交換を通じて、会員各社への支援を行うこと、も当支部の重要な役割であると考

る必要に迫られている。同業務では法令上の制限や現状の荷重状況、地下構造物の耐荷力などを踏まえ、地上上屋などの撤去や再構築に伴う地下構造物への影響、課題・条件整理、対応策の検討を進める。前回の広場改修の際に整理したコンセプトと現状の利用状況を対比し、解決すべき課題を抽出。その上で、周辺の今後の開発動向を踏まえ南口駅前広場改修の必要性を整理する。